

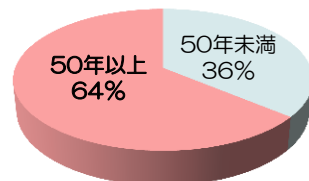
## 1. 計画の目標

予防保全型管理を導入することで、今後**100年間施設を健全な状態**に保ち、**対策費用の低減・平準化**を図る

## 2. 施設の現状

### ○懸念されている施設の経年劣化 【30年後の状況（2047年度）】

30年後、砂防施設（計画対象612施設）の内、約64%が完成から50年を経過する見込み



坂沢 砂防堰堤



峰入川 砂防堰堤

## 3. 定期点検の内容

平成25年度に点検を実施（原則5年に1度）

目視点検により、施設状態及び施設周辺の状態を把握



砂防堰堤の点検状況



溪流保全工の点検状況

## 4. 取組内容

### 【予防保全型管理】

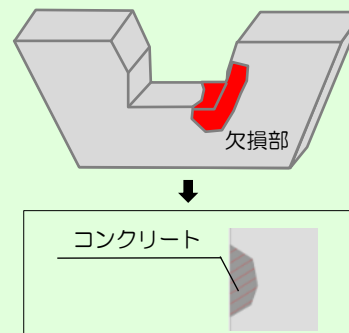
定期点検により施設の状態を把握し、**機能が低下する前に対策工事を実施**

#### ○対策対象となる施設

- ・変状状態が予防保全段階である施設

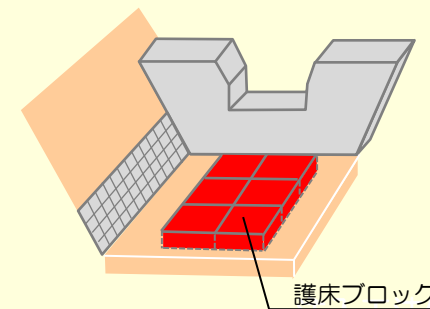
#### ○断面修復工

欠損した部分をコンクリート等により修復する



#### ○護床工

洗掘部に対し、流水外力に抵抗できる重量のブロック等を敷設する



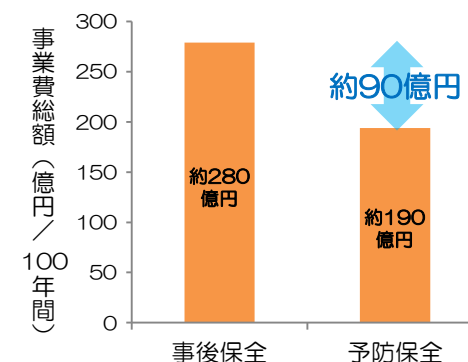
## 5. 事業効果(100年間)

### ○安全・安心の確保

機能を確実に発揮させ、土砂災害から都民の命と暮らしを守る

### ○コスト削減効果：約90億円

予防保全と、それを行わない場合100年分のコストを比較



## 6. 事業計画(10年間)

### ○平成30年度からの10年間の事業規模

対象：34施設（19溪流） 事業費：約12億円

## 7. 今後の方針

- ・急傾斜崩壊防止施設、地すべり防止施設についても、検討を進める
- ・原則、5年ごとに定期点検を実施し、優先度等の計画内容を見直す